

取扱説明書

ガステーブル

R - 2 V S 1 - R

型式 : R - 2 V S 1 - L

ガステーブル

R-2VS1-L
R-2VS1-R



取扱説明書

型式の呼び RTS-200TS-5L
RTS-200TS-5R

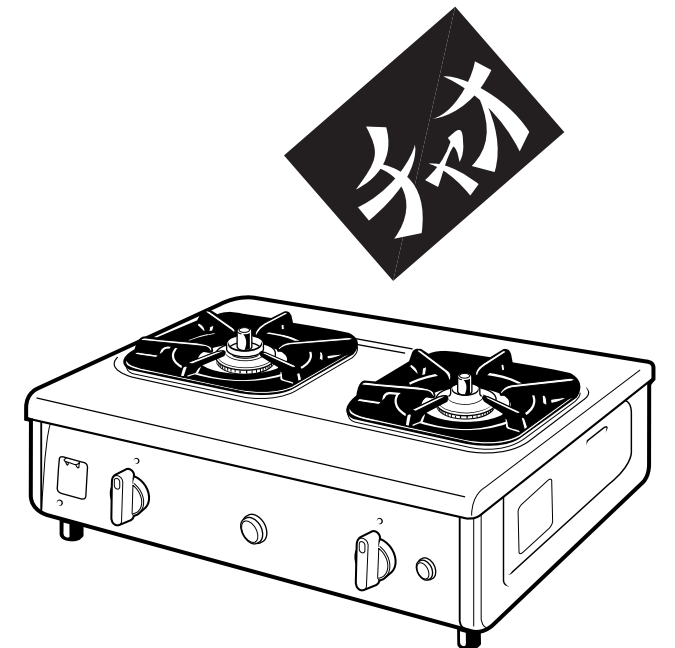
ご愛用のみなさまへ

このたびは、ガステーブルをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

- ご使用になる前にこの取扱説明書をお読みいただき正しくお使いください。
- この取扱説明書と別添の「保証書」の内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 幼いお子様にはさわらせないでください。
- 本製品は家庭用ですので業務用のような使いかたをすると著しく寿命が縮まります。
- この機器は国内専用ですので海外で使用しないでください。

もくじ

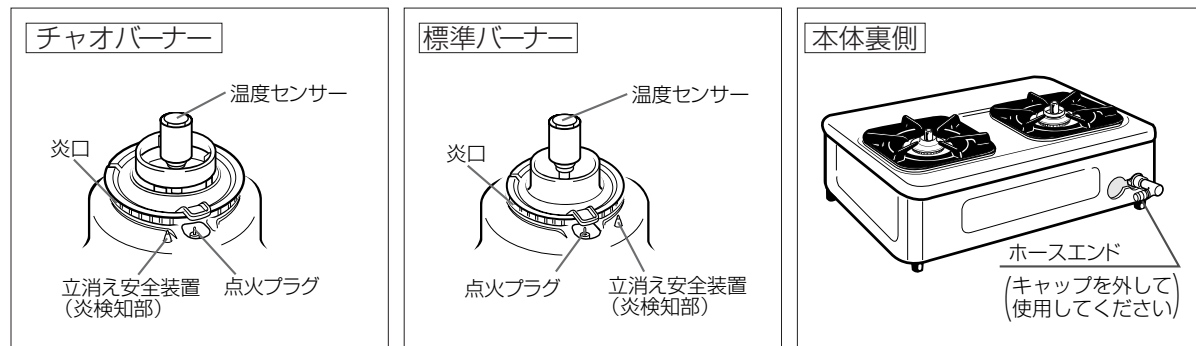
各部のなまえと特長	1
別売部品のご紹介	2
安全上のご注意 (必ずお守りください)	3~5
機器の設置	6~8
使いかた	9~11
点火・火力調節・消火のしかた	12
自動判別モード	13
高温調理モードの使いかた(標準バーナー)	13~14
使用中に消火したときは	15
お手入れのしかた	16~18
故障かな?と思ったら	19~21
長期間使用しない場合	22
交換部品(お客様にて取り替え可能な消耗部品)	22
アフターサービス	22
仕様	裏表紙



各部のなまえと特長

図のように正しくセットしてください。

図はR-2VS1-Lで説明してあります。R-2VS1-Rはチャオバーナーと標準バーナーが左右逆になっています。



ごとく

(ツメをトッププレートの穴に合わせ、がたつきがないように差し込みます。また、ごとくには「G」と刻印され左右共通です)

ツメ(裏面)
(2カ所)

しる受け皿
(左右共通です)

温度センサー
(チャオバーナー用)

バーナーキャップ
(チャオバーナー用)

バーナー本体
(チャオバーナー用)

チャオバーナー用
点火確認ランプ

品名表示位置

電池ケース

単1形アルカリ乾電池
(2個)(付属品)
(⊕側を手前にして乾電池を
セットしてください。)

電池交換サイン

(乾電池の寿命を
お知らせします)

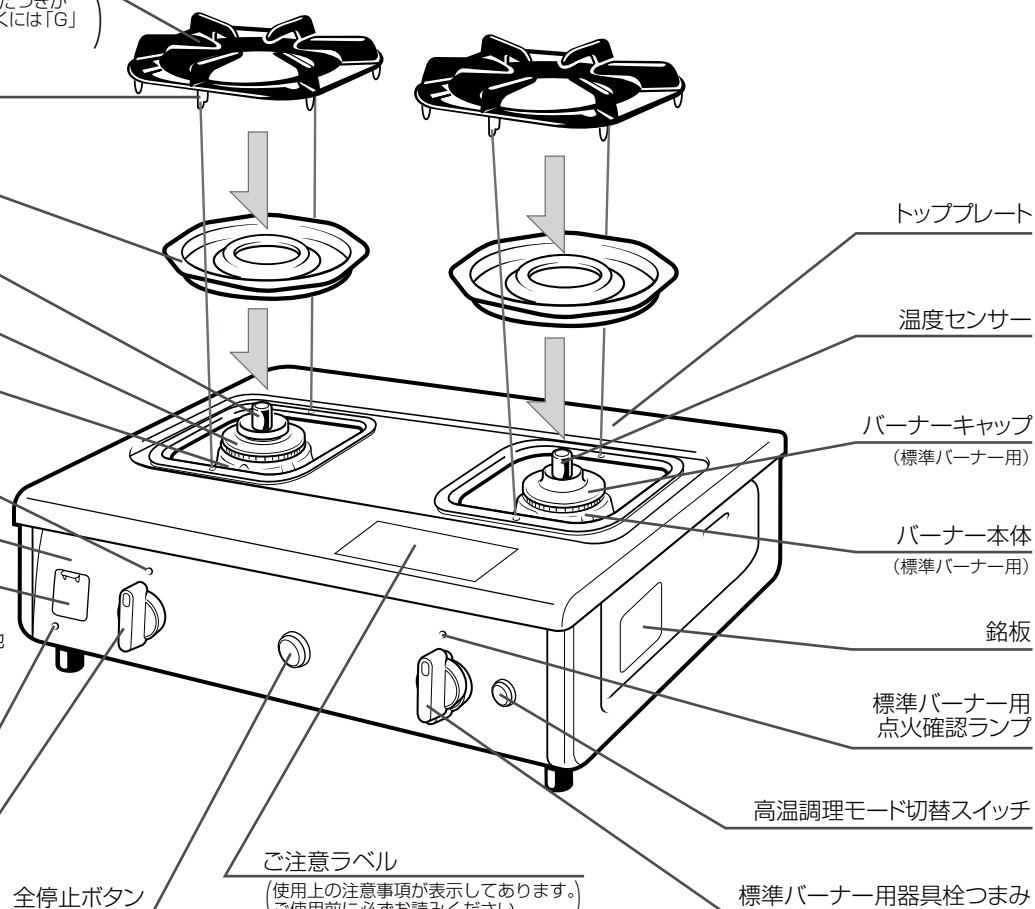
チャオバーナー用
器具栓つまみ

全停止ボタン

ご注意ラベル

(使用上の注意事項が表示してあります。
ご使用前に必ずお読みください。)

標準バーナー用器具栓つまみ



主な機能

●消し忘れタイマー 15 21

消し忘れを防止するために、点火してからの連続使用時間を判断して、約30分たつと自動消火し、同時にブザーで「ピー」と1回鳴ってお知らせする機能です。このとき点火確認ランプも点滅します。



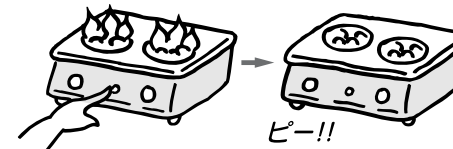
●感震自動消火機能 15 21

機器本体が、約震度4以上の揺れを感知すると自動消火し、同時にブザーで「ピー」と5回鳴ってお知らせする機能です。このとき左右の点火確認ランプと高温調理モード切替スイッチも点滅します



●全停止ボタン 21

もしもの時に、押すだけですべてのバーナーを消火し、同時にブザーが「ピー」と鳴り続けます。このとき左右の点火確認ランプ、高温調理モード切替スイッチ、電池交換サインも点滅します。すぐに器具栓つまみを回して、すべてのバーナーを消火の状態にしてください。



●立消え安全装置 15 21

煮こぼれなどで火が消えると、ガスを自動的に止めます。(ガスが止まるまで少し時間がかかります)同時にブザーで「ピー」と3回鳴ってお知らせします。このとき点火確認ランプも点滅します。

●焦げつき消火機能 15 21

煮ものなどで水分がなくなり、なべの底が焦げつきはじめたら自動消火し、同時にブザーで「ピー」と5回鳴ってお知らせする機能です。このとき、点火確認ランプも点滅します。

●調理油過熱防止機能 15 21

調理油過熱防止機能とは天ぷら、フライなどの揚げものの調理で、消し忘れなどによる調理油の過熱を防止する機能です。温度センサーでなべ底の温度を監視し、調理油が発火する温度になる前に自動的にガスを止めます。同時にブザーで「ピー」と5回鳴ってお知らせする機能です。このとき点火確認ランプも点滅します。

●高温調理機能 13

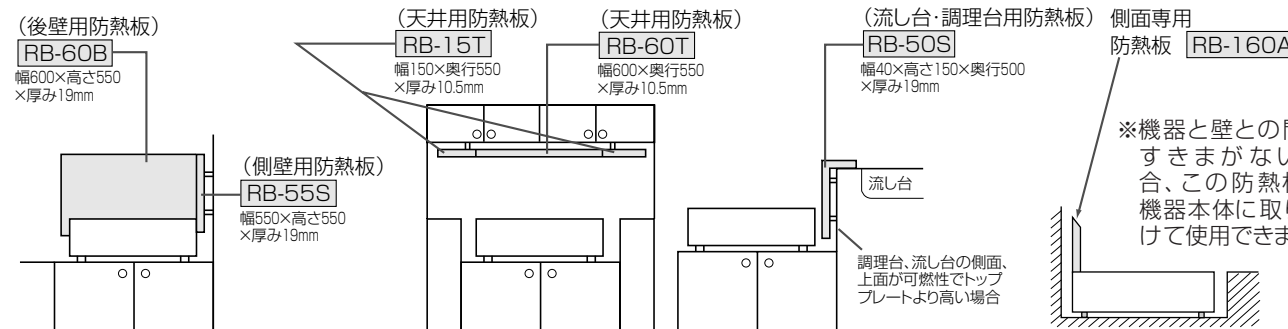
(標準バーナー)
揚げもの料理よりもさらに高温を必要とする料理(から焼きに近いもの、いりもの、炒めもの料理や焼き網調理など)に使用する機能です。



別売部品のご紹介

●防熱板 (取り付け方の詳細はP8を参照)

・設置場所で、可燃性の壁(ステンレス板などを張りつけた可燃性の壁も含む)から15cm、上部はトッププレート上面より100cm以上はなして設置できない場合、図のように取り付けて使用してください。



〈安全に正しくお使いいただくために〉

この取扱説明書および製品には、お使いになる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくための重要な内容が説明してあります。

●以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。

危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵表示について次のような意味があります。

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	接触禁止
	分解禁止
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

危険

■ガス漏れに気づいたら絶対に火をつけたり、電気器具のスイッチの入・切、電源プラグの抜き差し、周辺の電話を使用しない
炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

■ガス漏れに気づいたらすぐに使用を中止する

- ①すぐに使用を中止しガス栓を閉める。(ガス栓つまみのないガスコンセント接続の場合は、ガスコンセントからソケットをはずす)
- ②窓や戸を開けガスを外に出す。
- ③もよりのガス事業者(東邦ガス)に連絡する。

必ず行う

警告

■供給ガスと銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)があつていることを確認する

供給ガスと一致していない場合、そのまま使用すると不完全燃焼により、一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをすることがあります。供給ガスがわからない場合はお買い求めの販売店、またはもよりの東邦ガス営業所に問い合わせてください。転居されたときも、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを確認してください。

ガス種を確認

銘板

ガス種(ガスグループ)

12A・13A

都市ガス

12A用 13A用

〇〇〇〇 kW 〇〇〇〇 kW

〇〇.〇〇-〇〇〇〇〇〇

〈例〉
(12A・13Aの場合)

■機器の上や周囲にはペットボトル、調理油、スプレー缶、カセットコンロ用ボンベなど燃えやすいものを置かない また機器本体の下に新聞紙やビニールシートなどの燃えやすいものを敷かない また電源コードを通さない

熱でスプレー缶内の圧力が上がり、スプレー缶が爆発したり火災の原因になります。

■地震、火災、または使用中に異常な燃焼、臭気、異常音を感じた場合、使用中で消火した場合はただちに使用を中止し、ガス栓を閉じる(つまみのないガスコンセントの場合は、ガスコンセントからソケットをはずす)

故障かな?と思ったら(P.19~21)に従い処置をする。

ガス栓を閉める

①消火(止の位置) ②ガス栓を閉める(ガスコンセントからソケットをはずす)

■火をつけたまま離れたり、外出、就寝をしない

調理中のものが異常過熱し火災の原因になります。特に天ぷら、揚げものをしているときは、その場を離れないでください。離れるときは必ず消火してください。

■ガス接続口に汚れやゴミがないようにする

ガス漏れの原因になります。

■ガス用ゴム管(ソフトコード)を使用する場合は検査合格マークまたはJISマークの入っているものを使用し、ひび割れたゴム管、古いゴム管は使用しない

ガス用ゴム管以外は耐久性に欠けガス漏れの原因になります。ビニール管は絶対に使用しないでください。またガス用ゴム管はときどき点検して古くなった場合は取り替えてください。

■ゴム管の継ぎたしや二又分岐はしない

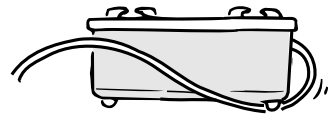
ガス漏れの原因になります。

ビニール管

警告

■ガス用ゴム管（ソフトコード）、ガスコードは、高温部に触れたり、折れたり、ねじれたりしないようにできるだけ短くして使用する また、ガス用ゴム管（ソフトコード）、ガスコードは機器の下を通したり、炎に近づけない また、他の機器で加熱されるような所にも通さない

使用時は周囲が高温になりゴム管がとけてガス漏れの原因となります。



■ガスコードの長さが合わない為に高温部に触れたり、機器の下を通したり、機器に触れたりする場合はガスコードを使用しない

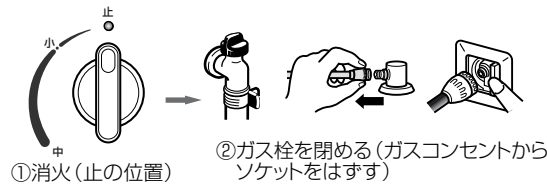
■修理・改造は高度な専門知識が必要です お客さまご自身では工具を使用して絶対に分解したり修理・改造は行わない 異常作動してけがの原因となります。

■使用後は消火を確認しガス栓を閉める

消し忘れによる火災の原因になります。機器から離れるときは必ず消火してください。



ガス栓を閉める



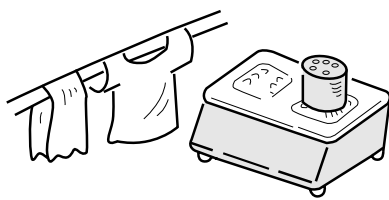
■火がついたまま持ち運ばない

火災・やけどの原因となります。

注意

■衣類の乾燥や練炭の火起しなど調理以外の用途に使用しない

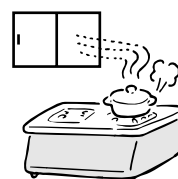
衣類が落下し、火災や過熱・異常燃焼による機器焼損の原因となります。



■使用中は換気をする

使用中は窓を開けたり換気扇を回すなど換気をしてください。換気をしないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。

注：ただし、屋内設置で自然排気式給湯器およびふろがまを使用している場合は換気扇を回さず窓などをあけて換気してください。排気ガスが逆流することがあります。

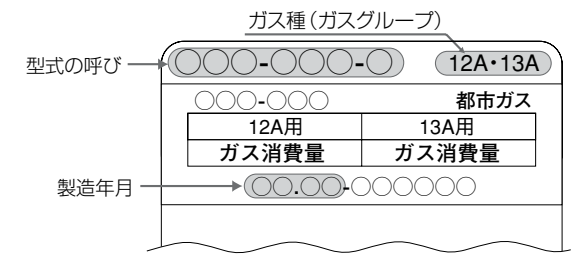


■幼い子供には触らせない

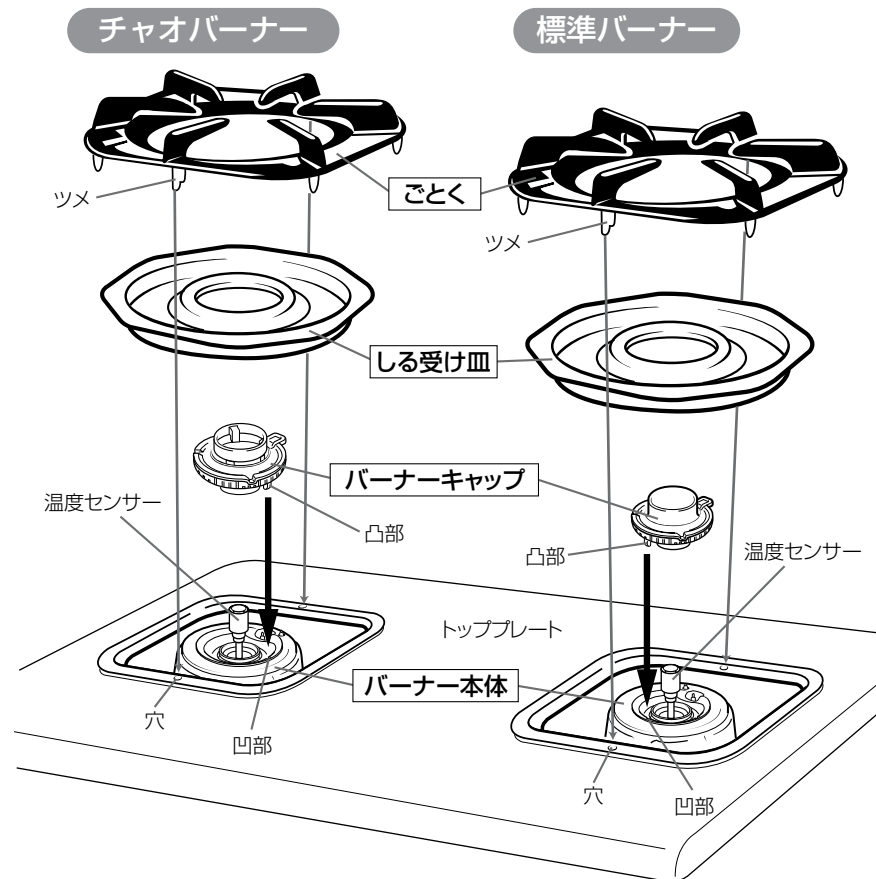
やけどやけがなど思わぬ事故の原因となります。

設置前の準備と確認

- 型式の呼び・ガス種・製造年月は、機器右側面の銘板に表示してあります。
- 機器銘板のガス種（ガスグループ）と供給ガスが合っているか確認します。
- 輸送のため各部分にあて紙や包装部材がありますので全部取り除いてください。

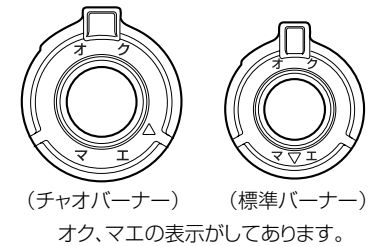


部品の取り付け



バーナーキャップ

「オク」印を奥側にして、バーナーキャップの凸部をバーナー本体の凹部に正しくはめ込み、必ず正常に燃焼していることを確認する。
※バーナーキャップが浮いたり傾いたりしていると点火不良や炎が不ぞろいになったり異常燃焼などが起こる場合があります。



ごとく

ツメ（2カ所）をトッププレートの穴に合わせ、がたつきがないようにセットしてください。

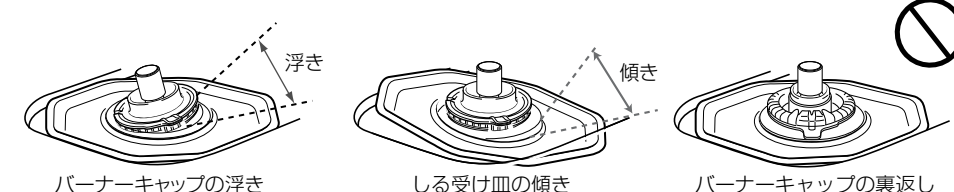
注意

■ごとは正しくセットする

誤ったセットをするとなべなどが不安定になり、かたむいたり、倒れたりします。

■バーナーキャップ・しる受け皿は確実に取り付ける

しる受け皿が傾いたり、バーナーキャップを正しく取り付けないと、点火しなかったり、炎のふぞろいや異常燃焼を起こしたり、また、機器の中に炎がもぐりこんで危険です。



誤ったセットの例

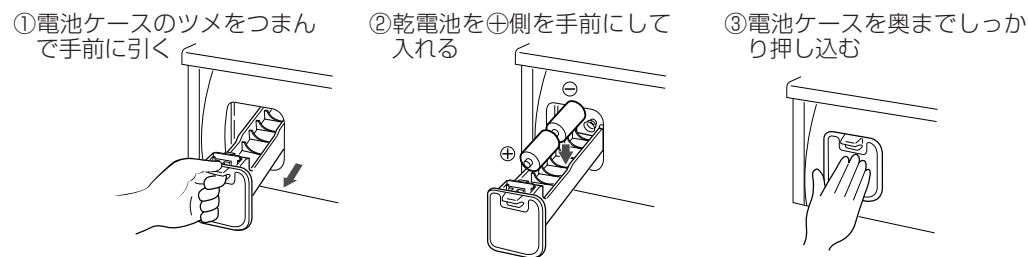
お願い

バーナーキャップは消耗品です。薄くなったり変形して炎が不ぞろいになった場合は交換が必要です。お買い上げの販売店またはもよりの東邦ガス営業所へご相談ください。

単1形アルカリ乾電池2個(付属品)

※電池交換は、機器本体が冷えてから行ってください。

乾電池のセットのしかた



(お願い)
電池ケースは途中で止まり、取りはずせない構造になっています。無理に引っ張らないでください。

お願い

- 電池ケースに水などの異物が入った場合電池接触不良の原因となりますので、ふきとってきれいにしてください。
- 乾電池の寿命は、乾電池の種類によっても異なりますが、通常約1年を目安にしてください。乾電池は必ず2個とも同種類の新品のアルカリ乾電池をご使用ください。(マンガン乾電池の場合は寿命が短くなります。)
- 付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので自然放電のため寿命が短くなっている場合があります。

設置場所及び周囲の防火措置

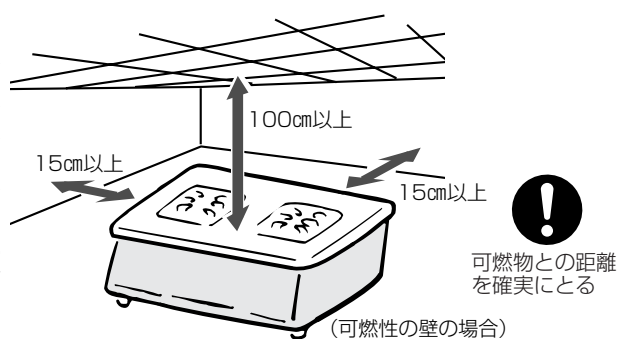
設置場所

- 付近にカーテンなど燃えやすいものがない場所
- 機器の上に湯沸し器のない場所
- 機器を使用した場合ガス栓が加熱されない場所
- 機器の上に樹脂製の照明器具のない場所

警告

■設置するときは可燃物との距離を確実に離す

距離が近いと火災の原因になります。(火災予防条例で定められていますので、必ず守ってください) 可燃物との距離が守れない場合は必ず別売の防熱板を取り付けてください。(P.2参照) また表面がステンレスやタイルでも壁の内部が可燃性の場合は必ず別売の防熱板を取り付けてください。防熱板はお買い上げの販売店またはもよりの東邦ガス営業所にご相談ください。



■設置後機器の周辺を改装する場合も可燃物との距離を確実に離す

注意

■水平で安定性のよい丈夫な台の上に設置する

不安定なところや傾いた所に設置すると、機器が傾いてやけどやけがのおそれがあります。また、傾いた場所に設置すると、点火しても器具栓つまみから手を離すと消火する場合があります。



必ず守る

■強い風の吹込むところには設置しない

点火不良や機器内部の損傷、安全装置が正しく働かないなどの原因になります。

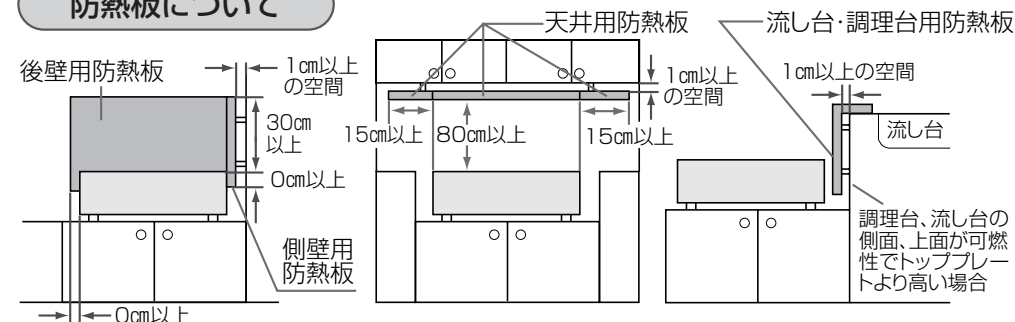
■棚の下など落下物の危険のある所に機器を設置しない

機器の上に落ちた物が燃えて、火災の原因になります。

お願い

設置直後は、点火しても器具栓つまみから手を離すと消火する場合があります。しばらく待ってから点火操作をしてください。

防熱板について



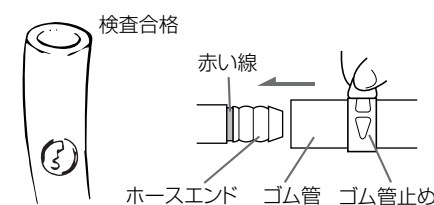
お願い

- 防熱板(別売)の部品コードは、「別売部品のご紹介」(P.2)を参照ください。
- 防熱板についてはお買い上げの販売店またはもよりの東邦ガス営業所にお問い合わせください。
- 別売の指定の防熱板を必ずご使用ください。

ゴム管(ソフトコード)の接続

・ガス用ゴム管(ソフトコード)(内径9.5mmφ・JISマーク入り)を用い、折れたり、ねじれたりしないようにしてガス栓と機器のホースエンドとを接続します。(2m以下で適当にゆとりをもたせる)このときゴム管は赤い線までしっかり差し込み、ゴム管止めで固定してください。また機器に接触しないようにして接続します。

・ガス栓を開け、接続部からガスの臭いがしないことを確かめ、ガス栓を閉める。



警告

■ガス用ゴム管(ソフトコード)は赤い線まで差し込んでゴム管止めでしっかりと止める

しっかりと止めないとガスの漏れ原因になります。



赤い線まで差し込む

ガスコードなどでコンセント接続する場合

ガス機器側の接続

機器のホースエンドをコンセント化してガスコードでコンセント接続する場合

右図のように、まず別売の器具用スリムプラグを梱包台紙の裏面に記載してある取扱説明に従って機器のホースエンドに取付け、次にガスコードの器具用ソケットを器具用スリムプラグに“カチッ”と音がするまで押し込みます。

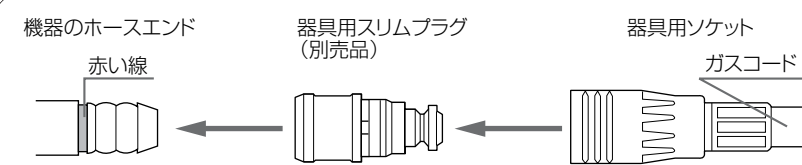
警告

■ガスコードを使用する場合は、器具用スリムプラグおよびガスコードの取扱説明書に従って接続する

間違った接続はガス漏れの原因になります。



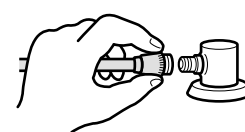
確認



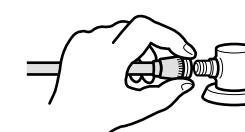
ガス栓側の接続

(ガス栓がガステーブルコンロ用であることを確認してください。)

①ガス栓を開けるとき
コンセント継手を“カチッ”と音がするまで確実に差し込む



②ガス栓を閉めるとき
コンセント継手のすべりリング(白色)を手前に引く



●コンセント継手を差し込むとガス栓が開きます。

●コンセント継手がはずれるとガス栓が閉まります。

お願い ガスコード接続する場合は、ガス栓側がカチットプラグになっていないと接続できません。従来のガス栓でご使用する場合は、別売のホースガス栓用プラグが必要です。機器を接続するガス栓は、必ずガステーブルコンロ用をご使用ください。

ガスコンセントについて

「ガスコンセント」は、ガスコードなどを取付けると自動的に開栓し、取外すと自動的に閉栓します。

◆ふたを開けるふたの右端を押します。



◆取り付ける「カチッ」と音がするまで差し込みます。



◆取りはずす右端にあるふたを押します。



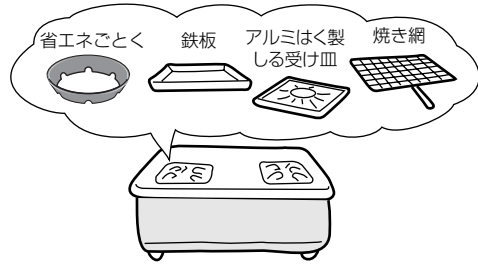
コンロを使うとき注意しましょう

下記の注意や「安全上のご注意」(P.3~5参照)をよくお読みになってお使いください。

警告

指定以外の補助具や大きすぎるなべなどは使わない

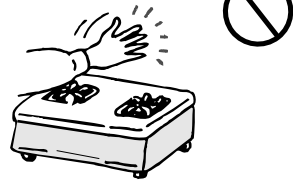
コンロをおおうような鉄板や直径34cm以上のなべ、焼き網、たこ焼き器、アルミはく製する受け皿、ごとくのかわりに用いる、いわゆる省エネごとくなどを使うと異常燃焼し、一酸化炭素中毒の原因となります。また温度センサーが正しく作動せず発火や消火の原因にもなります。指定以外の補助具を使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。



注意

コンロ使用中は身体の一部や衣服をバーナー付近に近づけない

衣服に炎が移ったり、熱によりやけどをするおそれがあります。



使用中、使用直後は器具栓つまみ以外に触れない

やけどをすることがあります。とくに幼いお子様がいらっしゃる家庭ではご注意ください。



接触禁止

やかん、なべなどの大きさに合わせて火力を調節する

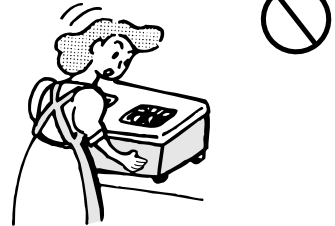
火力が強いとやかん、なべなどの取っ手が焼損したり、手に触れるとやけどをする原因になります。



なべなどの大きさに合わせて火力調節

点火操作時や使用中はバーナー付近に顔を近づけ過ぎない

炎や熱でやけどをするおそれがあります。



点火操作をしても点火しない場合は器具栓つまみを「止」の位置に戻し、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をする

すぐに点火操作をすると周囲のガスに点火して、衣服に燃え移ったり、やけどをするおそれがあります。



バーナーキャップを水洗いしたときは水気をじゅうぶん切ってからセットする

炎口が詰まったまま使用すると異常燃焼の原因になります。



水気を切る

ごとくをはずしてなべなどを直接コンロに置いて使用しない

不完全燃焼や機器焼損の原因になります。



使用中、使用直後しばらくはトッププレートに触れない

高温になっていますのでやけどをする原因になります。



接触禁止

使用できるなべと温度センサーについて

●温度センサーを正しく働かせるために、必ずお読みください。

温度センサーに適したなべ

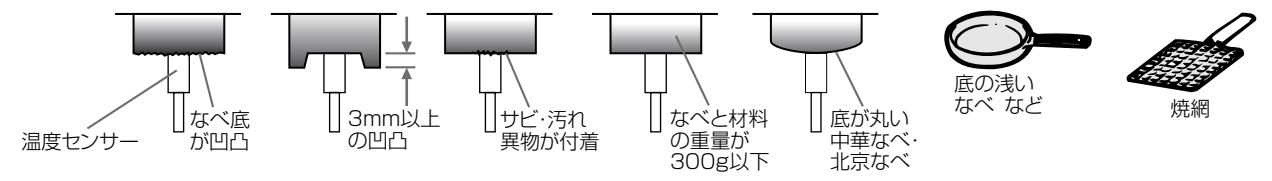
○：適する ×：適さない (温度を正しく検知しない場合あり)

なべの種類	油料理(揚げ物など)	その他の料理(煮物など)	備考
アルミ銅 	○ (油量：200ml以上)	○	
底の平らなアルミ製中華なべ 	○ (油量：200ml以上)	○	油料理をする場合に温度センサーが正しく作動しますが、油の量が200ml以下の場合発火することがありますので注意してください。
鉄ホーロー 	○ (油量：200ml以上)	○	
ステンレス 	○ (油の温度が上がりやすいので注意する)	○	
土なべ 耐熱ガラス容器 	×	○	油料理には適していません。温度センサーが正確に動きませんので火をつけたままにしておくと発火します。油料理には使用しないでください。
圧力なべ 	×	○ (但し、消火する場合があります)	油の量が200ml以下の場合発火することがあります。また、無水料理においてセンサーが正確に動かず消火する場合があります。その他の料理(煮物など)では調理中に消火したり焦げつきがひどくなる場合があります。
無水なべ 多層なべ 	○ (油量：200ml以上)	○	
焼網 	—	○	標準バーナーの高温調理モードを使用してください。

警告

■油料理をするときは、下記のなべなどは使わない

温度センサーがなべ底の温度を正しく検知できずに、発火や途中消火、機器焼損の原因になります。底が浅く広いなべなどでの油調理は、油の温度が上がりやすく発火の原因になります。使用しないでください。



耐熱ガラス容器、土なべなど熱の伝わりにくいもので油料理をしない。使用中に発火する恐れがあります。



■使用する調理油の量は200ml以上で行う

調理油の量ははじめから少ないと発火することがあります。調理中に減ってきた場合は、調理油を追加してください。



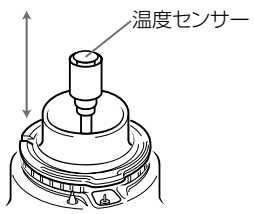
■温度センサーとなべ底が密着しているか確認する

温度センサーが傾いていたり、なべの間にすき間があると、発火や途中消火の原因になります。

注意

■温度センサーのお手入れはこまめに行う また上下にスムーズに動くことを確認する

なべ底に密着しなくなり調理油が発火する場合があります。また、動きが悪いとなべなどが傾き、お湯などがこぼれやけどをする原因にもなります。なべの重さは調理物を含め300g以上必要です。密着しない場合、点検・修理を依頼してください。



■温度センサーに強いショックを加えたりキズをつけない

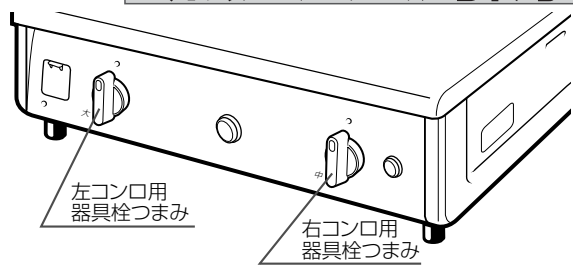
なべ底にセンサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。



■中華なべ用補助ごとく（別売）を使用しない

なべ底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。

点火・火力調節・消火のしかた



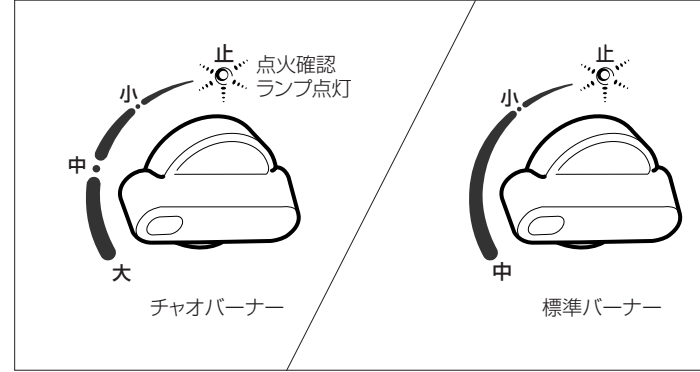
※使用するバーナーの器具栓つまみを間違えないでください。

左下に「大」と表示してあるのがチャオバーナー用の器具栓つまみです。「中」と表示してあるのが標準バーナー用の器具栓つまみです。必ず前面パネルの表示を確認してから点火してください。

1 準備

●器具栓つまみの「止」を確認し、ガス栓を開きます。

2 点火

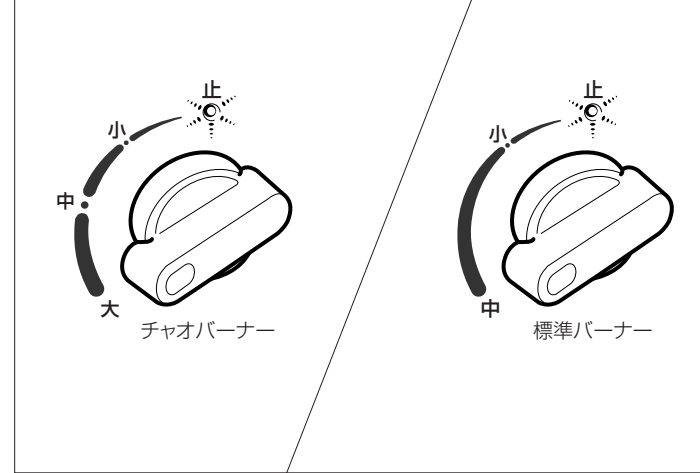


●器具栓つまみを左（「中」の方向）へゆっくりといっぱい回してください。いっぱいまで回さず手を離すと点火しません。※チャオバーナーは中火の状態点火するため、点火時は「中」の位置までしか回りません。

お願い

- すべてのバーナーが同時に放電する構造となっていますので異常ではありません。
- 万一、点火しないときは器具栓つまみを一旦消火の状態に戻し、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をしてください。

3 火力調節

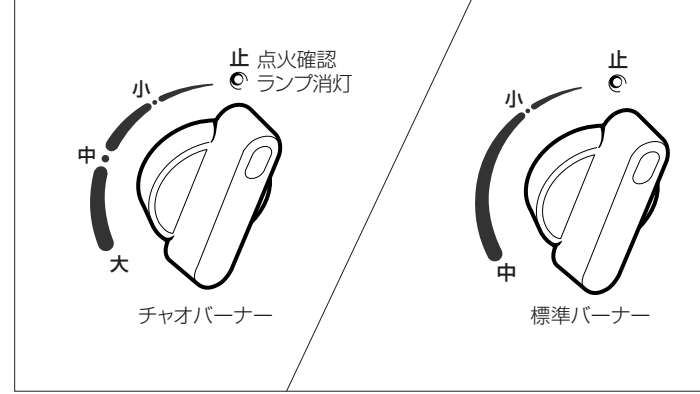


●器具栓つまみをチャオバーナーは「止」と「大」の間で、標準バーナーは「止」と「中」の間でお使いください。なお器具栓つまみを「大」及び「中」の位置から「止」方向へゆっくり回すと「小」の位置で「カチッ」と音がして止まります。※器具栓つまみを「止」から「小」の位置に回したときは「カチッ」と音はしません。

お願い

- チャオバーナー用の器具栓つまみは、点火時「中」でいったん止まり「大」まで回りません。点火後、器具栓つまみから一度手を離してから火力調節操作を行ってください。
- 弱火にしすぎたり、早く火力調節をすると消火することがあります。

4 消火



●器具栓つまみを右にいっぱい（「止」の位置まで確実に）回して、火が消えたことを確認してください。

お願い

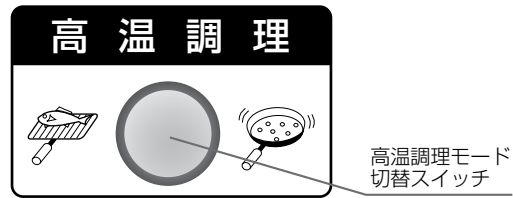
- 幼いお子様のいたずらによる火災防止やガス漏れ防止のため、機器から離れるときは念のためお部屋のガス栓を閉めてください。
- コンロバーナーは消火時にボンという音がする場合がありますが、これは火が消えた時の音で異常ではありません。（コンロバーナーに風が当たるような場合は、ボンという音がしやすくなります。）

自動判別モード

機器が自動的に調理の種類を判別し、焦げつき消火機能または調理油過熱防止機能を選択します。煮ものなど水分の多い調理の場合には焦げつき消火機能、天ぷら・フライなどの揚げもの調理や炒めもの調理などの場合には調理油過熱防止機能に設定され調理物を見はります。

点火時、標準バーナーは自動判別モードに設定されます。高温調理モード切替スイッチを一度押すごとに、自動判別モード→高温調理モード→自動判別モード……と設定が切替えられます。チャオバーナーは、常に自動判別モードに設定されています。

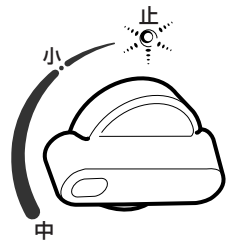
高温調理モードの使い方(標準バーナー)



高温調理モード

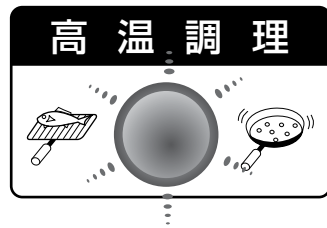
揚げもの料理よりもさらに高温を必要とする料理(から焼きに近い焼きもの、いりもの、炒めもの料理や焼き網調理など)をする時に使用します。

1 点火



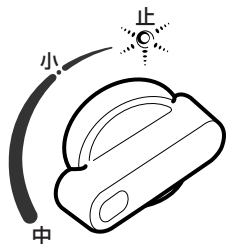
- 標準バーナーの点火操作をします。

2 モード設定



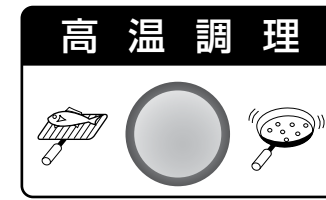
- 高温調理モード切替スイッチを一度押します。
 - スイッチが点灯します。
- ※自動消火温度の設定が通常の「自動判別モード」より高くなります。

3 火力調節



- 調理に合わせて火力調節してください。
- 温度センサーの温度が上昇すると、大火・小火を繰り返して高温状態を維持します。

解除するとき



- 高温調理モード切替スイッチをもう一度押します。
- 高温調理モードが取り消され、「自動判別モード」(P.13参照)に設定されます。(スイッチは消灯します)

消火の操作をしても高温調理モードは取り消されスイッチは消灯します。

お願い

- 高温調理モードで調理中、万一温度センサーの温度が異常に上昇すると安全のため自動消火します。器具栓つまみを消火の状態に戻し、温度センサーが冷えてから再び使用してください。
- 高温調理モードは焦げつき消火機能、調理油過熱防止機能の「自動消火温度」設定が高くなっています。特に揚げもの調理には高温調理モードを使用しないでください。
- 高温調理モードでは、大火・小火を自動的に繰り返して高温状態を維持します。小さな鍋やフライパンでの調理では、小火から大火になったとき、炎が鍋の外へあふれることがありますので注意してください。
- 熱変形して温度センサーと接触しないような焼網は使用しないでください。調理中に消火することがあります。

使用中に消火したときは

調理油過熱防止機能が作動

- すぐに器具栓つまみを回して消火の状態にしてください。
- 再度点火するときは
※なべや油が相当熱くなっていますのでやけどに十分注意して、水を入れたなべや水に浸した布などで温度センサーを冷してから点火してください。

焦げつき消火機能が作動

- すぐに器具栓つまみを回して消火の状態にしてください。
- 再度点火するときは
※焦げつきやすくなりますので、ようすを見ながら煮こんでください。

お願い

- カラメル、みその加熱など、水分のほとんどない調理や中火で自動消火したときは、焦げつきがひどくなる場合があります。
- なべを持ち上げたり、ごとくから浮かせて調理しますと焦げつき消火機能が働き、消火することがあります。
- カレーやシチューを再加熱するときは、水を加え、弱火でようすを見ながら行ってください。
- 土なべを使用する料理で、弱火から中火に切り替えたとき、焦げつき消火機能が働き、消火することがあります。このような場合は再点火してください。
- 圧力なべや無水なべを使用した料理、土なべを使用した料理、フライパンを使用した料理の焼きなど焦げつき消火機能が働き、消火する場合は再点火してください。

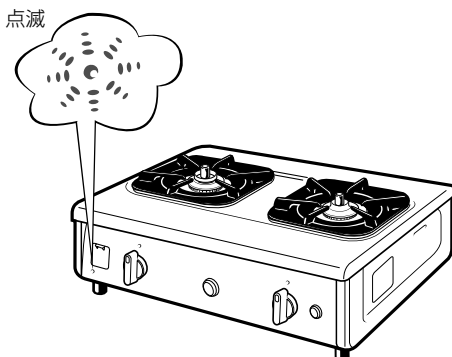
消し忘れタイマーが作動

- すぐに器具栓つまみを回して消火の状態にしてください。

電池交換サイン(乾電池の交換時期をランプにてお知らせします。)

- この機器は調理油過熱防止機能などの制御や消し忘れタイマーの制御をするために乾電池を使用しています。
 - 乾電池の交換時期をお知らせする電池交換サインがついています。
 - 点滅……新しい乾電池を用意してください。
 - 点灯……新しい乾電池と交換してください。
- 電池交換サインが点灯すると左右コンロ共、使用できなくなります。器具栓つまみを回したとき点火しても、安全のため手を離すと消火ようになります。電池交換サインが点灯したら新しい乾電池と交換してください。

点滅



お願い

- 乾電池は単1形アルカリ乾電池をご使用ください。
- 乾電池が正しくセットされていなかったり、乾電池の容量が全くなかったときは、点灯しません。

乾電池が消耗

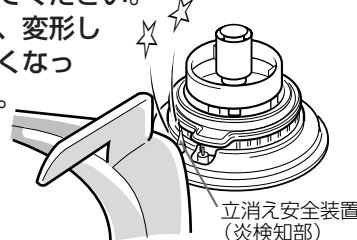
- 乾電池の容量が少なくなった場合、自動消火します。
※消火と同時にブザーが「ピー」と3回鳴ってお知らせします。
- すぐに器具栓つまみを回して消火の状態にしてください。
 - 乾電池を交換してください。(P.7参照)

立消え安全装置が作動

- すぐに器具栓つまみを回して消火の状態にしてください。
- 再度点火するときは
※周囲にガスがなくなったことを確認して、立消え安全装置(炎検知部)の汚れをふきとってから点火してください。

お願い

- 立消え安全装置(炎検知部)に水滴や煮こぼれがつくと、点火しにくくなったりします。水滴や煮こぼれはふきとってください。
- 立消え安全装置(炎検知部)に硬いものをぶつけないでください。まがったり、変形し点火しにくくなったりします。



感震自動消火機能が作動

- 揺れがおさまったらすぐに器具栓つまみを回して、すべてのバーナーを消火の状態にしてください。
- 再度点火するときは
※地震の状況を放送機関などで確認し、ガス漏れがないか確認の上、しばらく待ってから点火してください。

お願い

- 衝撃によって機器が動いたり、機器をずらしたりすると感震自動消火機能が働くことがあります。

⚠注意

■点検・お手入れは、ガス栓を閉め、機器が冷えてから手袋をして行う

- やけどや器具の角などでけがをする原因になります。また、お手入れする部品以外は、はささないでください。
- 機器本体に水をかけたり、丸洗いしないでください。不完全燃焼や故障をすることがあります。
- 点検・お手入れ後は、機器にふきん・紙類などが置き忘れていないか確認してください。
- 手袋をしないでお手入れすると、機器の突起物などでけがをすることがあります。
- 機器本体内部をお手入れする場合、各部品の突起物などに注意してください。強く当たった場合、手などにけがをする場合があります。



日常の点検

- 機器周辺に燃えやすいものが置いてありませんか。
- バーナーキャップ、しる受け皿などは正しくセットされていますか。
- ゴム管の接続は確実ですか。
- ゴム管は傷んでいませんか。
- 立消え安全装置(炎検知部)・温度センサーが汚れていませんか。
- バーナーの炎口が煮汁などでつまっていませんか。

お手入れの道具と洗剤について

お手入れの手順・ポイント

- ①手袋をします。道具・洗剤を用意します。
 - ②洗剤は、「台所用」「住居用」などの用途や、液性(中性・弱アルカリ性・弱酸性)を確認して汚れにあったものを選びます。道具・洗剤・食器洗い乾燥機の取扱説明書や注意をよく読み、使えるか確認します。まず、道具や洗剤を目立たない部分で試してから、使用してください。
 - ③スプレーで洗剤を直接かけず、スポンジや布に含ませてから使用します。
 - ④お手入れ後は、必ず水洗いした後にふき取り、水気や洗剤を残さないようにしてください。
- 守らないと、機器や部品表面のはがれ・欠け・変色・変質・さび・割れ・キズの原因となります。

使ってよい道具・洗剤

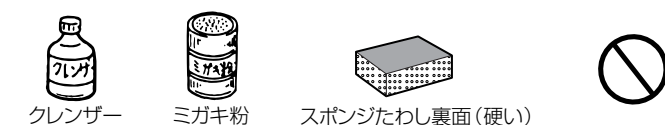


- 布・スポンジたわし、歯ブラシに水や台所用中性洗剤を含ませてふいて、その後乾いた布で水気をふき取ってください。

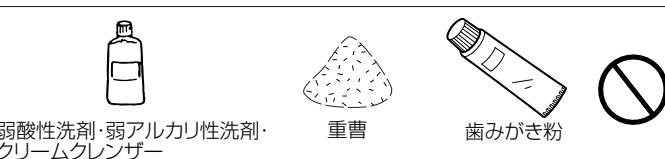
使ってはいけない道具・洗剤



- 硬いため、部品・ホーローや塗装の表面にキズがつきます。はがれ・欠け・変色・変質・さび・割れの原因になります。



- スポンジたわしの裏面は硬く、研磨剤も付着しています。
- 研磨剤で、部品・ホーローや塗装の表面にキズがつき、はがれ・欠け・変色・変質・さび・割れの原因になります。



- 基本的には使ってはいけません。表面の変質・キズ・変色・さびる場合があります。
- もし使う場合は、「お手入れの手順・ポイント」を守って使ってください。ただし、機器本体などの塗装部には絶対に使用しないでください。



- 部品やホーロー・塗装の表面が変質し、はがれ・変色・さびの原因になります。



- 機器内部に洗剤が入ると、電子部品に付着して作動不良や、腐食して故障の原因になります。機器に直接かけず、必ず布に含ませてからお手入れしてください。

- 上記記載以外の道具や洗剤も使用しないでください。

お手入れのしかた

バーナーキャップ

- ・目詰りしていたら、炎口をブラシや針金などで掃除をする。
- ・表面は台所用中性洗剤と水を含ませたやわらかい布などでふきとるか、水洗いします。
- ・お手入れ後は正しくセットし、正常に燃焼することを確認してください。



お願い

- ・バーナーキャップの表面（黒い部分）を台所用中性洗剤（野菜・食器洗い用）以外の洗剤でお手入れをすると黒い部分がはがれることがあります。万が一はがれた場合でもそのままご使用いただいて問題ありません。
- ・煮こぼれたときは、必ずお手入れしてください。

トッププレート

- ※汚れたらそのつどやわらかい布でふきお手入れをする。汚れたまま放置するとシミがのこる原因となります。
- ・汚れが落ちにくいときは、台所用中性洗剤（野菜・食器洗い用）で汚れた部分を湿らせておき、水を含んだ布でふきとる。

お願い

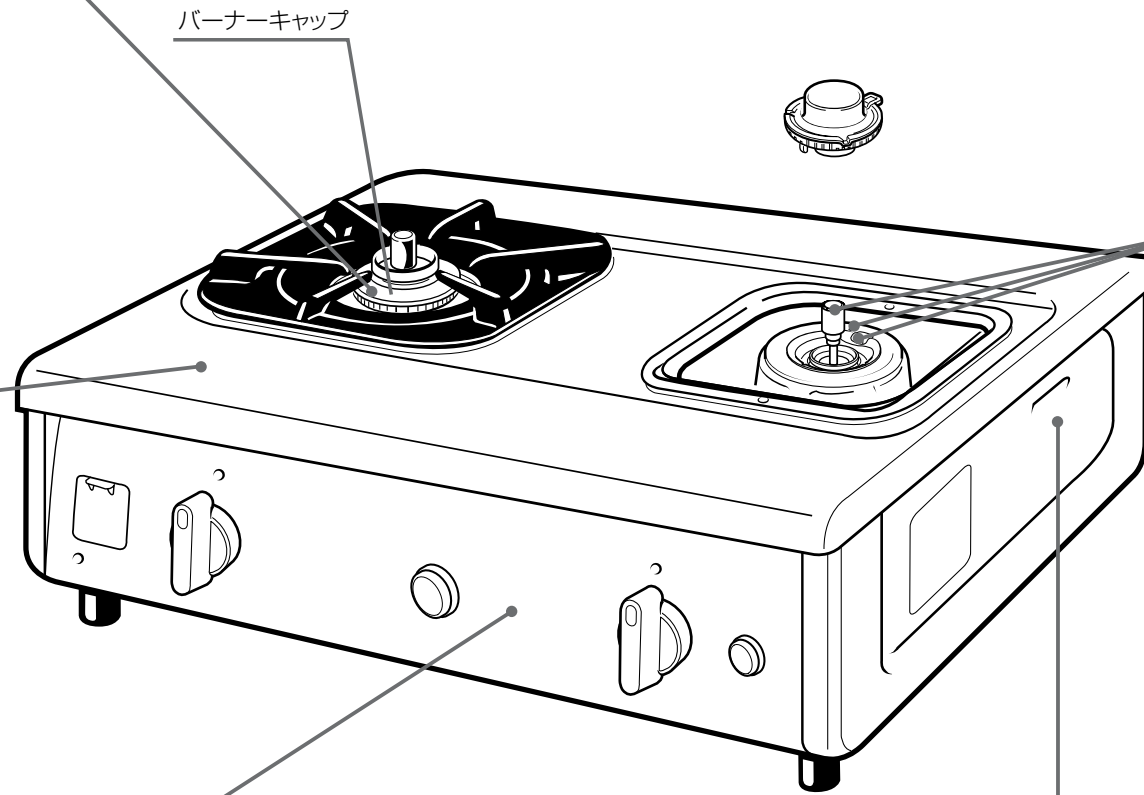
- ・トッププレートを台所用中性洗剤（野菜・食器洗い用）以外の洗剤やミガキ粉・硬いものでお手入れをすると、傷がついたりシミ・変色の原因となりますので使用しないでください。
- ・トッププレートには安全に関する注意ラベルが張り付けてあります。汚れたり読めなくなったときはやわらかい布などで汚れをふきとってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。もしはがれたり読めなくなった場合は、お買い上げの販売店またはもよりの東邦ガス営業所で新しいラベルを再購入のうえ、張り替えてください。

機器表面

- 台所用中性洗剤（野菜・食器洗い用）を含ませたスポンジたわし・やわらかい布でふき、お手入れ後は乾いた布で水気をふきとる。

お願い

- ・スプレー式洗剤は使用しないでください。機器前面などから内部へ洗剤が入りますと電子基板の誤作動や部品の腐食などにより機器が損傷する場合があります。
- ・前面パネルの印刷面にはミガキ粉・金属たわしなど硬いものは使わないでください。表面にキズがつきます。



ごとく・しる受け皿

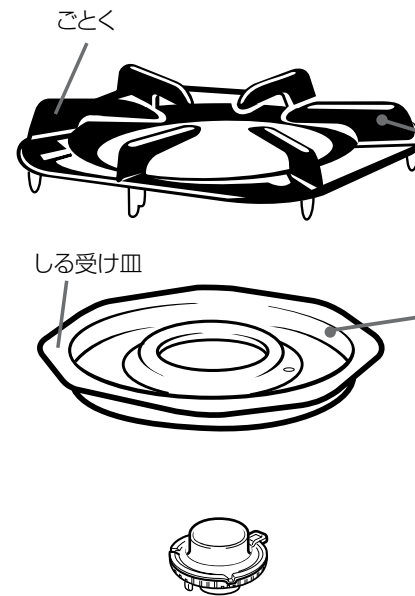
- 使用後そのつど台所用中性洗剤（野菜・食器洗い用）を含ませたスポンジたわしでお手入れをする。（お手入れをしないとよごれが焼きつくことがあるので、こまめにお手入れしてください。）

汚れがひどかったり、こびり付きがとれないときは？

- ・台所用中性洗剤を混ぜた水を含ませた紙や布で湿らせ、そのまま置いておいたり、またつけ置きしておく汚れが浮きあがってきます。また、煮洗いするとさらに汚れを落としやすくなります。最後に水洗いし、水気をふき取ります。

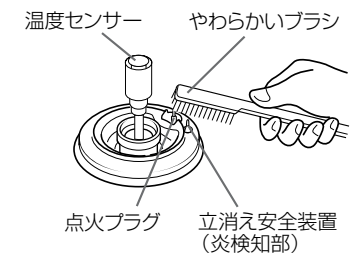
それでも汚れがとれない場合は、以下の方法で汚れを落とします。

- ※ただし、これらは基本的には使っていけないもので、表面にキズがついたり、変色・変質することがあります。目立たない部分で試してからお使いください。
- ・重曹を水でぬらしたスポンジや歯ブラシにつけて、汚れを落とします。また、重曹を溶かした水につけ置きした後、汚れを落とします。それでも汚れがとれない場合は、そのまま30分ほど煮込むと汚れを落としやすくなります。残った汚れは、割ばしやヘラを使ってこすり落とします。その後水洗いします。
 - ・弱アルカリ性洗剤・歯みがき粉・クリームクレンザーをスポンジにつけて、汚れを落とします。



立消え安全装置（炎検知部）・点火プラグ・温度センサー

- ・汚れや水気をやわらかい歯ブラシなどで落とす。（汚れや水気が付いていると点火しにくくなります。）
- ・温度センサーをお手入れするときは、温度センサーに片手を添えて、かたくしぼった布で温度センサーの頭部および側面の汚れをふきとってください。



お願い

- 硬いブラシでお手入れをしたり、立消え安全装置（炎検知部）・点火プラグ・温度センサーを傾けたりしないでください。点火不良や立消えの原因になります。



警告

■使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止する

あわてずガス栓を閉めてください。



ガス栓を閉める

調べてみると故障でない場合がよくあります。修理を依頼する前に、もう一度チェックしてください。

こんな場合は	調べてください	参照ページ
①点火しない ・点火しにくい ・放電しない ・点火してもすぐ消える ・手を離すと消火する	●ガス栓を全開にしていますか?	12
	●ゴム管内に空気が残っていませんか? (朝一番など) ⇒点火操作を繰り返してください。	—
	●バーナー炎口がつまっていますか?	17
	●点火プラグ、立消え安全装置 (炎検知部)、バーナーキャップがぬれたり、汚れたりしていませんか?	9・18
	●バーナーキャップ、しる受け皿が正しくセットされていますか?	6
	●アルミはく製しる受け皿を使用していませんか? ⇒使用しないでください。	9
	●乾電池が正しくセットされていますか? 乾電池が消耗していませんか?	7・15
	●器具栓つまみを左 (「中」の方向) へいっぱいまで手を離さずに回していますか?	12
	●ブザーが鳴って消火しましたか?	21
	●ゴム管が折れ曲がったり、つぶれたりしていませんか? ⇒ゴム管の折れ曲がり、つぶれを直してください。	—
●ガス栓のヒューズが作動していませんか? ⇒機器を接続しているガス栓がガステーブルコンロ用であることを確認してください。	8	
②炎の状態がおかしい ・炎が安定しない ・炎が黄色い、赤い ・異常音をたてて燃える、消える ・炎が均一でない ・使用中炎が消える ・なべにすすがつく ・火力が変わらない	●バーナー炎口がつまっていますか?	17
	●点火プラグ、立消え安全装置 (炎検知部)、バーナーキャップがぬれたり、汚れたりしていませんか?	9・18
	●バーナーキャップ、しる受け皿が正しくセットされていますか?	6
	●アルミはく製しる受け皿を使用していませんか? ⇒使用しないでください。	9
	●ブザーが鳴って消火しましたか?	21
	●バーナーの炎は点火プラグ、立消え安全装置、ごとく部分などで炎が短くなっています。異常ではありません。	—
	●風が吹き込んでいませんか? 扇風機や冷暖房機器の風が当たっていませんか?	7
●加湿器を使用すると水分に含まれるカルシウムが燃えて炎が赤くなる場合がありますが、異常ではありません。	—	
●火力調節しても炎の大小が変わらないように見える火力位置がありますが、異常ではありません。また、火力調節時に一瞬炎が黄色くなったり、大きくなる場合がありますが異常ではありません。	—	
③使用中や消火後に音が出る ・「ボン」と音が出る ・キシミ音が出る ・「シャー」と音が出る	●コンロバーナー使用後に「ボン」という火の消えた音がしますが、異常ではありません。	12
	●点火後や消火後にキシミ音がでますが、加熱や冷却されるときに、金属が膨張収縮して起こる音で、異常ではありません。	—
	●コンロバーナー使用中「シャー」と音がでますが、燃焼するガスの通過音で、異常ではありません。	—

こんな場合は	調べてください	参照ページ
④点火すると他のバーナーも放電する	●他のバーナーも同時に放電します。異常ではありません。	12
⑤器具栓つまみから手を離しても放電している	●器具栓つまみから手を離しても放電が続きます。(最長約10秒) 異常ではありません。	—
⑥ガスの臭いがする	●ゴム管がひび割れたり、穴があいていませんか?	4
	●ゴム管が確実に接続されていますか?	8
⑦調理中に… ・調理中に消火する ・自動消火しない ・点火してもすぐ消える ・なべ底がひどく焦げついて消火した	●なべの形状や材質が適していますか?	10
	●なべ底が凹凸していませんか?	11
	●なべ底や温度センサーが汚れていませんか?	11・18
	●油の量があっていますか?	10・11
	●から焼きに近い調理をしていませんか? ⇒高温調理モードを使用してください。	13
	●フライパンやなべをふったり、浮かせて調理していませんか?	—
	●長時間使っていませんか? ⇒消し忘れタイマーが作動しました。再点火してください。	2・15・21
	●冷凍食品や冷凍したなべをそのまま調理していませんか? ⇒常温にもどしてから調理してください。	—
	●カレーやシチューの再加熱ですか? ⇒水を加え弱火で様子を見ながら調理してください。	—
	●カラメル、みその加熱など水分のほとんどない料理や中火で調理していませんか?焦げつきがひどくなる場合があります。	15
	●温度センサーが高温になっていませんか? ⇒水を入れたなべやぬれふきんなどで温度センサーを冷やしてください。	—
	●火力を中火や弱火にして使用した場合、調理によっては消火機能が作動して途中消火する場合があります。 ⇒再度点火してご使用ください。	—
	●圧力なべや無水なべを使用した料理、フライパンを使用した鶏のもも焼きなど焦げつき消火機能が働き、消火する場合があります。 ⇒再度点火してご使用ください。	15
	●地震や強い衝撃などにより機器が動いたりしましたか? ⇒感震自動消火機能が作動しました。揺れがおさまったらすぐに器具栓つまみを回し、全てのバーナーを消火の状態にしてください。	2・15
	⑧ブザーが鳴った ・数回鳴った ・鳴り続ける	●安全機能が作動しています。 ⇒確認してください。
⑨赤いランプが点滅する ・電池交換サイン ・点火確認ランプ	●乾電池の交換時期が近づいています。 ⇒新しい乾電池を用意してください。	15
	●自動消火した後、器具栓つまみを消火の状態に戻しましたか? ●点火操作時「パチパチ」と放電するとともに、電池交換サイン、点火確認ランプがうすく点滅することがありますが、故障ではありません。	—
⑩部品が変色する ・表面が変色する ・ごとくが変色する ・バーナーボディが変色する	●酸性やアルカリ性洗剤を使用していませんか?	16
	●ごとく先端は、炎が当たり白くざらざらになることがありますが、使用上問題ありません。 ●炎の熱や、煮こぼれによりバーナーボディが変色することがありますが、使用上問題ありません。	—

なお、異常のあるときやおわかりにならないときには、お買い上げの販売店またはもよりの東邦ガス営業所へご相談ください。不完全な処置は事故のもとになります。

表示とブザーについて

ブザー音	表示	内容	原因	処置と再使用時の注意	参照ページ
ピー5回	点滅確認ランプ 「ピカッ、ピカッ、…」と点滅	調理油過熱防止機能作動	調理油の過熱・焦げつき・消し忘れによる過熱・から炊きなど。	<ul style="list-style-type: none"> ●「故障かな?と思ったら」のこんな場合は⑦を確認する。 ●やけどに注意して再点火を行う。 ●調理油過熱防止機能作動中(温度センサーが高温のままの状態)は、点火しても手を離すと消火する場合があります。 	15・20
	点滅確認ランプ 「ピカッ、ピカッ、…」と点滅 高温調理モード切替スイッチ 「ピカッ、ピカッ、…」と点滅	焦げつき消火機能作動			
ピー3回	点滅確認ランプ 「ピカッ、ピカッ、…」と点滅	感震自動消火機能作動	地震や衝撃などによる揺れ。	<ul style="list-style-type: none"> ●揺れがおさまったら、器具栓つまみを「止」の位置まで戻す。 ●続けて使用する場合は、地震の状況を放送機関などで確認し、ガス漏れがないか確認の上、しばらく待ってから再点火を行う。 	15
	高温調理モード切替スイッチ 「ピカッ、ピカッ、…」と点滅				
ピー1回	点滅確認ランプ 「ピカッ、ピカッ、…」と点滅	立消え安全装置作動	炎の吹き消え・煮こぼれした場合・点火しなかった場合など。	<ul style="list-style-type: none"> ●「故障かな?と思ったら」のこんな場合は①、②を確認する。 ●周囲にガスがなくなるまで待ってから再点火を行う。 	15・19
	電池交換サイン点灯	電池交換サインのお知らせ	乾電池の消耗。	●乾電池を交換してください。	7・15
ピー1回	点滅確認ランプ 「ピカピカッ、ピカピカッ、…」とダブル点滅	消し忘れタイマー作動	使用開始から約30分たちました。	<ul style="list-style-type: none"> ●器具栓つまみを「止」の位置まで戻す。 ●続けて使用する場合は再点火を行う。 	15
ブザーが鳴り続ける	点滅確認ランプ 「ピカッ、ピカッ、…」と点滅	温度センサー電子部品の故障	部品が故障しています。	●ガス栓を閉め、使用を中止し、お買い上げの販売店またはもよりの東邦ガス営業所にご連絡ください。	別添 東邦ガスお問い合わせ先一覧表
	点滅確認ランプ 「ピカッ、ピカッ、…」と点滅 高温調理モード切替スイッチ 「ピカッ、ピカッ、…」と点滅 電池交換サイン点灯 「ピカッ、ピカッ、…」と点滅	全停止ボタンによる消火	全停止ボタンが押された。	<ul style="list-style-type: none"> ●器具栓つまみを「止」の位置まで戻す。 ●続けて使用する場合は再点火を行う。 	—

- お部屋のガス栓を必ず閉めてください。(つまみのないガスコンセントの場合は、ガスコンセントからソケットをはずす)
- ガス通路部分はほこりが入らないように機器のホースエンドやガスコードの接続口には必ずキャップをしてください。
- 乾電池をはずしてください。
- お手入れしておくと、次回使用するとき便利です。

交換部品(お客様にて取り替え可能な消耗部品)

- 下記の部品(有償)は、お客様ご自身にてお取り替えしていただくことができます。交換の際は製品の品名をご確認のうえ、お買い上げの販売店またはもよりの東邦ガス営業所にお問い合わせください。

交換部品	品番	部品コード
ごとく	チャオ・標準バーナー用	010-238-000
しる受け皿	チャオ・標準バーナー用	009-233-000
バーナーキャップ	チャオバーナー用	151-281-000
	標準バーナー用	151-260-000

※乾電池はもよりの電気店等でお買い求めください。
(2004年9月現在の仕様です。仕様は変更される場合があります。あらかじめご了承ください)

機器を廃棄する時のお願い

本機器は乾電池を使用していますので、大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取り外してください。そのままにしておきますと思わぬ事故になることがあります。

アフターサービス

修理を依頼されるときは	『故障かな?と思ったら』をもう一度ご覧になって確認してください。それでも不具合の場合や不明な場合は、ご自分で修理なさらずにお買い上げの販売店、またはもよりの東邦ガス営業所へご連絡ください。アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。 (1)品名(R-2VS1-L、R-2VS1-R) ※P.1品名表示位置確認 (2)型式の呼び(銘板表示のもの:RTS-200TS-5L、RTS-200TS-5R) (3)故障または異常の内容(できるだけ詳しく) (4)ご住所・お名前・電話番号・道順 (5)訪問ご希望日
保証について	当社は保証書に記載してあるように、機器の販売後、機器に故障がある場合、一定期間と一定条件のもとに無料修理に必ず応ずることをお約束します。(詳細は保証書をご覧ください) 保証書を紛失されますと無料修理期間であっても修理費をいただく場合がありますので大切に保管してください。
補修用性能部品の保有期間について	無料修理期間経過後の修理については、お買い上げの販売店、またはもよりの東邦ガス営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は有料修理いたします。補修用性能部品保有期間は、当製品の製造打ち切り後5年間となっています。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です)
転居されるとき	ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区分があります。ガスの種類(ガスグループ)が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、転居先のもよりのガス事業者にご相談ください。この場合、保証期間内でも、調整・改造に要する費用は有料となります。
アフターサービスなどについてわからないとき	お買い上げの販売店、またはもよりの東邦ガス営業所にご連絡ください。連絡先は別添のお問い合わせ一覧表を参照してください。

仕様

品名	R-2VS1-L	R-2VS1-R
型式の呼び	RTS-200TS-5L	RTS-200TS-5R
型式名	RTS-200TS	
種類	ガステーブル	
点火方法	連続放電点火式	
外形寸法	高さ176mm×幅560mm×奥行422mm(トッププレート前面からホースエンドまで)	
質量(本体)	7kg	
ガス接続	9.5mmφガス用ゴム管	
付属品	取扱説明書、保証書、単1形アルカリ乾電池(2個)、ゴム管止め(2個)	

使用ガス 使用ガスグループ		1時間当たりのガス消費量			型式の呼び
		個別ガス消費量		全点火時 ガス消費量	
		チャオバーナー	標準バーナー		
都市 ガス	12 A	3.91kW	2.28kW	5.87kW	RTS-200TS-5R
	13 A	4.20kW	2.45kW	6.30kW	

見本

東邦ガス株式会社

名古屋市熱田区桜田町19番18号 〒456-8511



販売店名

■製造元リンナイ株式会社

名古屋市中川区福住町2番26号 〒454-0802



200TS-32A (00)
CH-20 ©